

連合静岡 2026 「みらいアカデミー」Phase2 実施報告

～ 連合静岡次代リーダー育成プログラム「2026みらいアカデミー」Phase2を実施しました ～

実施概要

1. 実施日 2026年5月23日(土) 8時50分～17時00分
2. 場所 静岡労働会館3階 大会議室
3. 受講者 17産別24名(男性17名、女性7名) 欠席3名
4. 内容 Phase2では、「労働組合のありたい姿に向けて」をテーマに、労働組合の取り巻く環境変化をふまえ、2035年を見据えた労働組合の将来像についてグループワークを行いました。

まず、Phase1で行った「労働組合の現状分析(SWOT分析)」の内容について意見や価値観を共有し、2035年を想定し労働組合の内部環境・外部環境の変化について、強み・弱み・機会・脅威の観点から意見交換を行いました。

受講生からは、働き方の多様化やデジタル技術の進展、組合員のニーズの変化など、将来予想される社会の環境変化をふまえながら議論を深めました。

続いて、グループごとに「2035年にありたい労働組合像」を検討し、ビジョンと大切にしたい価値観をまとめました。各グループからは、「対話を力に 未来をひとつに」「AI(愛)とともに」「彩りあふれる笑顔の夢サラダ」「全員が主役～ここにいけば応えがある～」労働使レールを敷いて 全員参加で出発」など、それぞれの想いを込めたビジョンについてプレゼンテーション(発表)を行いました。

また、各グループが共通して重視していた価値観として、「組合員の声を聴くこと」「対話を通じたつながりづくり」「多様性の尊重」「全員参加」「変化への対応」などがあげられ、将来にわたって組合員に寄り添い、安心して働ける職場づくりを支える存在であり続けることの重要性を再確認しました。



静岡県労働者福祉協議会主催 能登の“いま”を知り、静岡に活かす視察研修

実施日: 2026年5月24日(日)～25日(月)
 場所: 1日目-復興防災ガイドツアー(輪島市) | 2日目-①穴水町復興支援状況視察(穴水町) ②のと鉄道「震災語り部観光列車」(穴水駅～七尾駅)
 参加者: 5名 ※連合静岡を代表し、災害ボランティアに参加した5名が参加 ※全体として35名(構成組織、地域、地区労協、こくみん共済coop、福祉基金)

1. 目的
 - 2024年1月に発生した能登半島地震から2年半が経過しようとしている中、現地の復興状況を視察し、静岡での防災・減災に活かす学びの場とする。
2. 視察内容
 - 連合静岡と県労協が現地にボランティア支援にからって約1年8か月が経過し今回の視察研修を通じて現地を確認した。当時と比べると道路の段差もなく、公費解体された住宅跡が多く、復興住宅や商店街が建設されるなど、徐々に復興が進んでいる様子は確認できたが、どこどこに震災の爪痕は残っていた。
 - ハード面の整備は進んでいたものの、ソフト面では課題が多いという。輪島市では、これらを生かす者が先頭に立って復興計画に携わることが期待されているが、当の若者は輪島を離れる人が多く、また名物「輪島の朝市」も再開のめどが立っていない。心のケアを必要とする人も少なくないという。インフラや建物など目に見える復興だけでなく、被災地で生活する人々の心(やりがい、生きがいなど)の復興状況にも関心を寄せなければならないと感じた。
 - 現地を見て感じたことは、「被災後の住まいのこと。輪島市ではいまだ復興住宅が整備されおらず、仮設住宅ではプライバシー確保もできない、穴水町は復興住宅の建設が進んでいたものの、仮設入居者全員が入居できるわけではない、入居しないあるいはできない人は自らの住宅を確保しなくてはならない、のと語り部列車のガイドさんはいまだ仮設住宅暮らしなど。静岡県では住宅の耐震化は進んでいると言われているが、避難所利用者を少なくでき、プライバシーも確保するためにも、住宅の耐震性は軽視できないと再認識した。
 - 最後に、参加者の一人が穴水町長に「現時点で私たちが穴水町にできる支援とは何ですか?」と聞いたところ、吉村町長は「最近では能登の様子を取り上げるマスコミもなく、あの震災が忘れられようとしている。静岡県からは発生直後から支援してもらった。このご縁を機に、能登のことを忘れず、心を寄せてください。そして機会があればまた能登にお越しください。それが最大の支援です」と述べられた。
 - 今回の研修を通じて、被災地の「いま」を自分たちの目で見て、現地の声を直接聞くことの重要性を改めて認識できた。今後も連合静岡として被災地に寄り添いながら、できる支援を継続していくと同時に、自らも予想される大地震や豪雨災害への備えに努めたい。



2026年度政策委員会 県外視察研修報告

1. 実施日: 2026年5月14日(木)～15日(金)
2. 参加者: 政策委員会 計16名
3. 視察先と目的

- 2026年度以降の県要請に関する委員の知見を拡大し、県要請策定に向けた参考とする。
- 1 厚生労働省、経済産業省との意見交換会(東京・衆議院第1議員会館)
 - 2 東京イノベーションベース(東京・有楽町)
 - 3 芳賀・宇都宮ライトライン(栃木県宇都宮市)
 - 4 株式会社アキモ(栃木県宇都宮市)

4. 視察内容

1-1 厚生労働省との意見交換会の懇談テーマ

【地方における労働力確保について】

- ①県内若年層の流出の現状と人材確保について、内閣官房の取組みに対する厚生労働省としての協力状況の確認
- ②地方における良質な雇用確保、人材定着、リスキング支援について、厚生労働省における現在の施策と今後の強化ポイントの確認
- ③製造業に偏る地域産業構造の中で、多様な就業機会を広げるための厚生労働省としての取組みの確認

【社会保障の壁について】

- ①社会保障の壁(106万円の壁、130万円の壁)の改善による労働力の確保・推進が求められる一方で、社会保障制度は維持していかなければならないが、その両立について厚生労働省としての方針の確認
- ②社会保障の壁の見直しに関する、現在の議論状況と方向性の確認

厚生労働省のみなさん



1-2 経済産業省との意見交換会の懇談テーマ

【パートナーシップ構築宣言について】

- ①パートナーシップ構築宣言制度の、経済産業省におけるこれまでの評価の確認
- ②中小企業・小規模企業に対して、この制度をより実効性の高いものにするための経済産業省としての方向性の確認
- ③サプライチェーン全体で取り組むべき本制度において、発注側への働きかけも含め、どのように機能させていくべきか、経済産業省としての考えの確認

【さらなるDX化推進に向けた産業支援について】

中小企業・小規模企業に対するDX実現促進の支援についての、経済産業省としての考えの確認

【未来を支える産業人材育成について】

- ①将来の産業を担う人材の育成に向けて、経済産業省としての重点取組みの確認
- ②地方において強化すべき人材確保・人材育成施策の確認

経済産業省のみなさん



2 東京イノベーションベース

【東京イノベーションベースとは】

●東京都が運営するスタートアップ支援施設で、スタートアップや起業家だけでなく、現行事業の加速(アクセラレーター)、ベンチャーキャピタル(スタートアップ等へ出資する投資ファンド)、大学、自治体、大企業なども含め、国内外の様々なビジネスプレイヤーが「つながる」場所としての提供を行っている。



VRを体験する政策委員メンバー



館内説明を受ける

3 芳賀・宇都宮ライトライン

【芳賀・宇都宮ライトラインとは】

- 次世代型路面電車の公共交通である。宇都宮駅東口から東側へ約14.6kmで、芳賀・高根沢工業団地を結んでいる。構想開始は1994年で、2023年8月26日開業。
- 低床式でホームとの段差がほとんどない。時間に正確で、工業団地への通勤手段として活躍するとともに渋滞緩和にも寄与している。再生可能エネルギーの採用など環境への配慮も進んでいる。日本初の「全線新設」の本格次世代型路面電車である。



芳賀・宇都宮ライトラインの説明を受ける

4 株式会社アキモ

【株式会社アキモとは】

- 宇都宮市郊外にある創業1960年の各種漬物・野菜加工食品製造販売会社。
- パート含む従業員120名程。外国人も多く働いている。(タイやベトナム等からの技能実習生⇒多くが特定技能に移行済み)



株式会社アキモにて説明を受ける



- 野菜の「発酵」をテーマに、減塩などの健康食品を生み出している。
- 食品会社であるため社内の安全衛生管理は徹底して行われており、社長も非常に勉強されている方で、様々な知識のもとで会社運営されているようである。
- 地元住民に対する社会貢献活動(あじさい祭り等)に非常に力を入れている。



相談無料 ライフサポートセンターしずおかの暮らしでも相談

相談時間 平日9:00～17:00

ALWF Association of Laborers' Welfare Fund of Shizuoka Prefecture

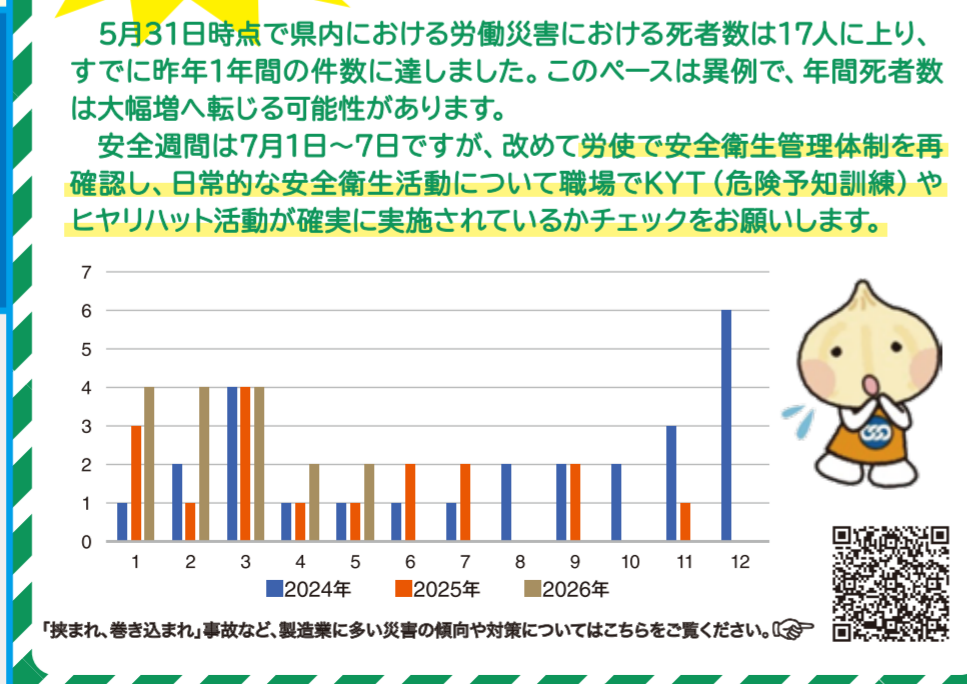
東部事務所 ☎055-922-3715
 中部事務所 ☎054-273-3715
 西部事務所 ☎053-461-3715

連合静岡 安全衛生推進委員会からのお願い

今年に入って県内16件の労災死亡事故発生!

5月31日時点で県内における労働災害における死者数は17人に上り、すでに昨年1年間の件数に達しました。このペースは異例で、年間死者数は大幅増へ転じる可能性があります。

安全週間は7月1日～7日ですが、改めて労働使で安全衛生管理体制を再確認し、日常的な安全衛生活動について職場でKYT(危険予知訓練)やヒヤリハット活動が確実に実施されているかチェックをお願いします。



- 7月の活動予定
- 7/3(金) 政策委員会
 - 7/6(月) 組織拡大委員会
 - 7/8(水) 中小労働委員会 労働局要請
 - 7/10(金) 企画委員会
 - 7/15(水) 執行委員会

★編集後記★

先日能登半島地震で被災した穴水町に行ってきました。能登半島地震から2年半が経過する中、復興に向けた歩みが進んでいる一方で、未だ多くの爪痕も残っています。穴水町長からは「能登を忘れず、また訪れてほしい。それが最大の支援」という言葉も。被災地に心を寄せ続け、このご縁を未来につなげていきたいと思いました。

穴水駅が終点ののと鉄道では、ポケモン財団の支援によりコラボしていて、駅や電車もラッピングされていたり、のと鉄道ポケモンの限定グッズがあったりと、めちゃくちゃかわいいので、機会があればぜひ行ってみてください!

2026年連合静岡 第97回地協メーデー開催!

『対話と連帯で築く 平和で笑顔あふれる未来 真の働き方改革で 安心して暮らせる社会を!』

地協	名称	日時	会場	参加人数
伊豆	第97回ファミリーメーデー	5月6日(水・祝) 10:00～11:00	伊豆アニマルキングダム	1,000人
沼津三田	第18回ファミリーメーデー	4月29日(水・祝) 9:30～12:30	キラメッセぬまづ	2,000人
富士・富士宮	第97回連合富士・富士宮地協メーデー	5月17日(日) 10:00～12:00	富士市中央公園	1,315人
静岡	2026静岡地協メーデー	4月19日(日) 9:30～10:00	清水マリナターミナル	1,500人
志太榛原	第97回メーデー	5月10日(日) 9:30～12:00	大井川河川敷川越イベント広場	1,150人
東遠	第97回メーデーの集い	4月19日(日) 9:00～11:30	つま恋リゾートの響イベントホール	1,270人
中遠	第97回メーデー	5月31日(日) 9:00～9:40	ヤマハスタジアム	1,900人
浜松	第97回メーデー	4月26日(日) 9:30～11:30	浜松公園楽広場	2,000人
湖西	第97回メーデー	5月10日(日) 9:00～12:00	浜名湖ポートレール場サンホール	1,400人

静岡で働く人のための資料閲覧サイト Worker's Library [ワーカースライブラリー]

調べてみよう 私の給料どのくらい?

RENGO ONLINE

連合静岡

かべしんぶん

静岡県駿河区南町11-22
 TEL (054) 283-0105
 FAX (054) 288-0105
 http://www.rengo-shizuoka.jp/

発行 日本労働組合総連合会 静岡県連合会
 発行人 角山 雅典
 編集人 甲田 剛大
 発行日 2026.07.01

暮らしのあれこれ、ご相談は(ろうきん)へ。

マイホームの夢の実現!
 (ろうきん) 住宅ローン

クルマやバイクの購入から車検まで!
 (ろうきん) オートローン

住まいの共済
 火災共済・自然災害共済

こくみん共済
 カードライフを応援する、贈れる補償マイカー共済

全労済から「こくみん共済 coop」へ
 たすけあいの輪をむすぶ 共済共済